

豊中市立第二中学校 部活動に係る活動方針

令和5年（2023年）1月31日

1. 部活動の目的

部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、単に、知識・技術・競技力を向上させるだけでなく、多様な活動や経験を通して、人間的な成長をめざすことを目的とする。

2. 運営について

- (1) 年間の活動計画並びに毎月の活動計画を作成し、計画的な活動を行うとともに、保護者にも提示し理解と協力を求める。
- (2) 部活動顧問は複数で担当する等、過度の負担が生じないようにする。また、生徒や教職員数を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全確保、教職員の長時間勤務の解消等の観点から、部活動に関する規定を適宜見直すなどの措置をとる。

3. 休養日（ノークラブデー）及び活動時間の設定について

- (1) 学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。休養日が確保できなかった場合は、他の日に休養日を振り替える。
- (2) 長期休業中の休養日の設定についても、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間を設ける。
- (3) 1日の活動時間は、長くとも学期中の平日で2時間程度、学校の休業日（学期中の週末及び祝日を含む。）及び長期休業中は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- (4) 学校の休業日に練習試合等で4時間以上の活動となる場合は、生徒の健康管理に十分配慮して、休憩時間を適切に設定し、無理のないよう活動するとともに、その後に休養日を設ける等、学校生活に支障のないように配慮する。

4. 指導について

- (1) 適切な指導方法、コミュニケーションの充実等により、生徒の意欲や自主的、自発的な活動を促す。
- (2) 無理のない安全な活動メニューを心掛け、生徒が自主的に行うことを基本とする。
- (3) 部活動の指導に当たって、生徒の自発性を損なうことの無いよう考慮して指導に当たる。
- (4) 事故の未然防止のため、施設・設備の点検を定期的実施する。
- (5) 大会参加や練習試合等については、日程を十分に考慮し、過度な負担とならないようにする。